

ITEC Symposium

New Automotive Technology: Its Benefits and Challenges 自動車の新技術：その効果と課題

日時：2015年3月23日（月）13:30～16:00

場所：同志社大学 今出川校地 寒梅館2階 213号室

新興国でのモータリゼーションの普及等を背景に、自動車利用に伴う大気汚染、温室効果ガス排出や交通事故の増加が世界的に大きな問題となっている。これを解決し持続可能な交通を構築するためには、自動車の新技術の活用が不可欠である。本シンポジウムでは、こうした問題意識の下、自動車の新技術普及のための課題と普及の効果について議論する。

プログラム

セッション1 基調講演

“Access without Excess; automobiles, society and competitiveness”

David R. Cope (ケンブリッジ大学クレアホール校ファウンデーションフェロー)

(同志社大学客員教授)

セッション2 プレゼンテーション

1. 次世代自動車普及によるグローバル・ベネフィットに関するモデル分析

竹下 貴之 (長崎大学准教授)

2. 世界の都市拡大と交通費用の影響に関する基礎分析

紀伊 雅敦 (香川大学准教授)

3. 自動車の平均寿命と次世代車の普及

三好 博昭 (同志社大学大学院教授)

セッション3 質疑応答



- セッション1 (基調講演) は英語、セッション2 (プレゼンテーション) は日本語で行います。質疑応答は英語、日本語の両方で行います。(通訳の対応はありません)
- 参加申し込み：事前の参加登録が必要です。
itec@doshisha-u.jpまでEメールで申し込みをお願いします。

* 本事業は、JSPS科研費25281071の助成を受けたものです。

主催：同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター (ITEC)